

公益社団法人 日本動物園水族館協会(JAZA) 種保存会議シンポジウム

# 動物園水族館でつなぐ命

— 自然と共生する世界を目指して —



日時：2023年10月28日（土）13:30～16:30

場所：天王寺動物園 TENNOJI ZOO MUSEUM

主催：(公社)日本動物園水族館協会(JAZA)、地方独立行政法人天王寺動物園  
後援：環境省近畿地方環境事務所、(公財)日本博物館協会、大阪市

# 動物園水族館でつなぐ命

－自然と共生する世界を目指して－

動物園水族館には種の保存、教育・環境教育、調査・研究、レクリエーションという4つの社会的役割があります。このうち種の保存は当初、希少動物を飼育下で繁殖させることにより、自然に負荷をかけることなく展示を維持することを目指しスタートしました。しかし、各地で自然が破壊され、多くの生き物が危機的状況になるなか、生息域内での保全活動を補完するために、生息地以外で保存する「生息域外保全」の役割も担うようになっていきます。

生息域外保全の目的は種の絶滅を回避し、本来の生息地での多様性を維持することです。この目的の達成のためには生息地での保全活動との連携が必要で、「生息域外保全」と「生息域内保全」が統合された一つの計画「ワンプランアプローチ」が大切です。トキやコウノトリのように飼育下で繁殖した個体が野生復帰を進める中、ワンプランアプローチの重要性が増しています。このシンポジウムでは、動物園水族館がワンプランアプローチの中で、どのような役割を求められているのか。何ができるのかを考えたいと思います。



2023年10月28日（土） 13:30～16:30 場所：天王寺動物園 TENNOJI ZOO MUSEUM

## 13:30 開催挨拶・趣旨説明

村田 浩一

(JAZA会長 よこはま動物園 園長)

## 13:40 基調講演 「環境省の保護増殖事業」

鴛海 智佳

(環境省自然環境局野生生物課  
希少種保全推進室 室長補佐)

## 14:00 事例報告

### ① 「スジシマドジョウ類」

金尾 滋史 (滋賀県立琵琶湖博物館)

### ② 「ニホンライチョウ」

荒川 友紀 (那須どうぶつ王国)

### ③ 「アマミトゲネズミ」

古根村 幸恵  
(宮崎市フェニックス自然動物園)

### ④天王寺動物園の取組

向井 猛 (天王寺動物園 園長)

## 15:15 パネルディスカッション

パネリスト

村井 仁志

(JAZA副会長  
富山市ファミリーパーク 園長)

佐藤 哲也

(JAZA生物多様性委員会委員長  
那須どうぶつ王国 園長)

堀 秀正

(JAZA生物多様性委員会保全戦略部部長  
東京都恩賜上野動物園)

金尾 滋史

(JAZAイタセンパラ・アユモドキ計画管理者  
滋賀県立琵琶湖博物館)

モデレーター

栗田 正徳

(JAZA生物多様性委員会副委員長  
名古屋港水族館 館長)

- 参加方法 当日、会場にお越しください。  
TENNOJI ZOO MUSEUMは13:00から開場します。
- 参加人数 先着100名様です。